

<Vol.93の記事>

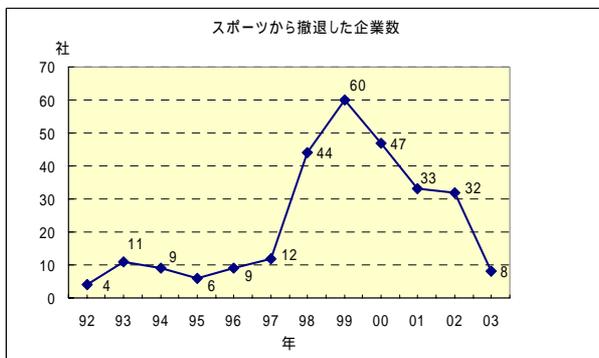
読みもの 「企業スポーツと地域クラブの課題」

活動報告 キッズテニス大会 in S A I T A M A

企業スポーツと地域クラブの課題

● なでしこリーグ「TASAKI」休部の衝撃

10月10日、経営再建中の田崎真珠が、サッカー女子なでしこリーグ1部所属のTASAKIペルーレFCについて、今季限りで休部し、来季以降のリーグから退会すると発表しました。北京五輪で女子サッカーが活躍した後のこのニュースに、驚いた人も多かったのではないのでしょうか。1989年の女子リーグ発足時から加盟し、国内リーグで1回、全日本女子選手権で4回の優勝を果たしている関西の名門チームであっても、親会社の経営状態悪化の影響をまぬがれることはできませんでした。しかしこのニュースは、女子サッカーに限らず、日本のスポーツ界全体の問題です。



日本のトップスポーツを支えてきたのは、まちがいはなく企業スポーツです。しかし1990年代以降、企業の経営悪化により、1999年の60件をピークに、トップレベルチームの300近くが撤退しました(グラフ参照)。

高度経済成長の時代、各企業は自社の宣伝に利用しようと、企業スポーツにこぞって参入しました。しかし、企業スポーツは当然企業の論理によって左右されます。1990年代以降、企業スポーツに訪れた危機は、企業を活動ベースとした日本のスポーツの限界を示すものでした。そこで、新しいスポーツの形態として注目されるようになったのが、「地域密着」であり、その象徴ともいえるのが「リーグ」です。そして「リーグ

のケースを参考にして、いろいろな競技団体やチームが地域との連携を目指すようになりました。

● 「地域密着」の現状と今後

しかし、「地域密着」をうたっているにもかかわらず、相変わらず多くを企業に頼っている現状があり、実際に企業からの支援が少ないチームは、常に厳しい運営をせまられています。古河電工のアイスホッケー部は1999年の廃部により、日光アイスバックスという市民クラブとしてスタートしましたが、経営困難により再度廃部。その後また再建されたものの、日光市だけではチームを支えられないということで、1995年には神戸市とのダブルフランチャイズとなり、2007年にそれも解消するなど、迷走を続けています。

このように、地域密着という形態であっても地域だけで支えることは困難であり、企業からの支援は不可欠です。かといって企業に多くを期待することは、1990年代の失敗を繰り返すこととなります。

その点、女子サッカーリーグは1990年代末にスポンサー企業の撤退で休廃部が相次いだことにより、地域のクラブ化を進め、地域密着を図ってきました。しかし、それでも今回のTASAKI休部という事態が起き、「地域密着」の現実を改めてつきつることとなりました。北京五輪の日本代表選手を2人擁している、名門チームTASAKIは、地域にとっても、そして子どもたちにとっても大きな誇りであり、憧れです。こうしたチームがなくなってしまうことを防がなければ、大人も子どもも夢をもち、スポーツに関わっていくことができなくなります。そのために、もっともっと地域との連携を深め、企業の論理に左右されない、地域で支えるクラブをつくらなければなりません。

さらに、地域密着のクラブはトップのいわゆる「みる」スポーツだけでなく、地域住民が「する」スポーツにおいても重要です。浦和SCが目標とするのは、そうした地域住民のための地域住民によるクラブです。しかしまだまだ地域の人たちとの連携が不十分。これからも地域に愛されるクラブを目指して頑張ります。

活動報告

キッズテニス大会 in SAITAMA

第2回「キッズテニス大会 in SAITAMA」が10月11日(土)に浦和駒場体育館で開催されました。この大会は、子どもたちにテニスの面白さ、試合の楽しさを知ってもらい、同時にマナーを身に付けてもらおうというもの。

大会の部には小学生151名が参加。今年で2回目ですが、「昨年よりも、みんなうまくなっている。試合らしい試合ができるようになった」という声があがる中、子どもたちもそれぞれが自分の力を発揮し、テニスを楽しんでいました。

また、マナーキッズテニス教室の部では約20名が、まずあいさつなどの基本的なマナーを学び、そのあとコーチからレッスンを受けました。初めてテニスを体験する子どもも、やわらかいボールにすぐに慣れ、テニスのおもしろさに夢中になっていました。

【大会の部】



試合前には、あいさつのしかたなどの講習会もおこなわれました



子ども以上に真剣です



自分の結果は自分で報告

【マナーキッズテニス教室の部】



初めてでも楽しめます



まずはあいさつから

お知らせ

ふらっと常盤で「紙芝居」の会

11月20日(木)16時 毎月第3木曜日開催

与野図書館で「紙芝居ひろば」を主催する他、中央区の小中学校、学童クラブ、児童センター等で紙芝居をメインにしたおはなし会を開いている「ゆめのはこ」が、ふらっと常盤でも「紙芝居」の会をおこなって

れることになりました。とても熱心に活動している「ゆめのはこ」の紙芝居は、お子さんだけでなくお母さん方も夢中になってしまうといえます。

初回は、11月20日(木)の16時から。以降毎月第3木曜日の16時に開催します。どなたでもご自由に参加いただけますので、お友達をお誘い合わせのうえ、当日「ふらっと常盤」までおこしてください。

第一回：11月20日(木)16時～

内容(予定)

「どんぐりとやまねこ」(宮沢賢治)

「おとうふさんとそらまめさん」(松谷みよこ)

など

クリスマスカード作り教室

11月22日(土) 子どもも大人も参加できます

「ふらっと常盤」の恒例行事となっていた、菊野恵さんによるクリスマスカード作り教室を、今年は領家のクラブハウスで開催します。3mmほどの細長い紙を専用のツールで



今年のデザインはこれです!

くるくる巻いてパーツを作り、そのパーツを組み立てて作成する、ペーパークイリングという技法を使って、とてもかわいらしい、林檎のリースのクリスマスカードを作りましょう! できあがりになると満足するはずです。

日時：11月22日(土) 10:00～12:00

場所：浦和SCクラブハウス(領家)

対象：小学生高学年～成人

小学生低学年でも、保護者付き添いであれば参加できます

定員：15名

申込み：浦和SC事務局まで

▶福永泰氏が浦和SCのサッカー特別コーチ就任

1995年から2001年に浦和レッズの選手として活躍し、現在はサッカー解説者の福永氏が、浦和SCに登場します。詳しくは次号で。

▶11月の星空スポーツ広場の予定は、ホームページでご確認ください



2008年度、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。